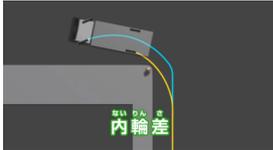


解説書

3 からだの成長

3-3 危険を防ごう!(13分29秒)

● 危険は思わぬところにひそんでいる(6分43秒)



キーワード **交差点 内輪差 死角 ライトの点灯**

内容

校種 単元名

ケガをしたり、死亡したりしないようにするためには、危険な場所と危険な行動を知っておかなければなりません。危険は思わぬところにひそんでいます。事故は突然やってきます。

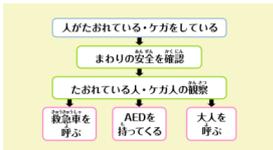
小 けがの防止 ア
中 傷害の防止 アイ

まず、危険が隠れているところは見通しが悪い交差点です。見えないところから突然 車や自転車が飛び出してくるかもしれないので、いつも もしかしたら…!という気持ちを持つことが大事です。

自動車が曲がる時、前のタイヤと後ろのタイヤの通る場所が違います。後ろのタイヤの方が前のタイヤよりも内側を通ります。これを内輪差といいます。曲がる自動車の内側に立つときは、巻き込まれないように気をつけなければなりません。また、自動車の運転者からは見えない死角に入らないようにすることも大事です。

さらに気をつけなければならないのは、急いでいるときやイライラしているとき、心配事や悩みがあるとき、睡眠不足のとき、遊びに夢中になっていたり、悪ふざけをしているときです。こういうときは事故が起こる確率がぐんと高くなります。

● ケガ人がでたら(6分36秒)



キーワード **AED 119番 正しい手当て**

AEDは、事故や病気で心臓が正常に動かなくなってしまった人を、周りの人がその場で、電気ショックを与えて助けることができる道具です。駅や空港をはじめ人が大勢集まる場所には、AEDが設置されています。普段からAEDがどこにあるのか知っておくことが大切です。

小 けがの防止 イ
中 傷害の防止 エ

人が倒れていたり、ケガをしている人がいたら、まずは周囲の安全を確認してから、次に、ケガ人の状態やケガの大きさをよく観察して、何をしたらいいか判断します。

軽いケガの場合は、正しい手当てを行います。すり傷の場合は、きれいな水で汚れを洗い流し、ガーゼなどをあてて傷口から菌が入らないようにします。

切り傷で出血している場合は、止血が必要です。傷口をガーゼなどで、やや力を入れてしばらくの間 押さえます。やがて傷口の血液が固まり出血が止まるようになります。



鼻血の手当て

鼻出血(鼻血)の場合は、少し下を向き、両方の鼻を押さえて、鼻の付け根を冷やそうにします。



やけどの手当て

やけどは、すぐに流水や氷水などの冷たい水で十分に冷やそうにします。衣服を無理に脱ごうとすると皮膚を傷つけてしまうので、服を着たまま冷やそうにしましょう。

ねんざや打撲、つき指をしたときは、よく冷やし、患部を高い位置に挙げて安静にします。